

平成 22 年度第 3 回公立大学法人滋賀県立大学経営協議会議事録

日時・場所：平成 22 年 12 月 7 日（火）10：00～12：00 評議会室

出席者：曾我理事長、川口副理事長、大田理事、菊池理事、仁連理事、北村委員、吉川委員、高橋委員、南委員、結城委員

事務局：堀部事務局次長、坪田総務グループ統括、小島財務グループ統括、高田経営戦略グループ統括、杉野学生・就職支援グループ統括、藤野教務グループ統括、郡田図書情報グループ統括、久保田地域貢献研究推進グループ統括、松野副参事、吉田副主幹、矢野主査

【議 題】

(1) 平成 23 年度予算（案）について

川口副理事長および小島財務グループ統括から資料に基づき説明があり、審議の結果、原案どおり承認された。

委員からは、文部科学省の大学教育推進プログラムが事業仕分けの対象となっているが、これが廃止された場合、本学が採択された「地域学副専攻化による学士力向上プログラム（近江楽士）」の必要経費はどうなるのかという質問があり、これに対しては、予算を工夫して実施できるよう検討したいとの回答があった。

また、予算規模に比べて大学裁量経費が少ないのではないかとの意見があり、これに対しては、予算編成の段階で理事長の意向を各予算項目に反映させているので、裁量経費として計上する額は少なくなっているとの回答があった。さらに、目的積立金の中期計画終了後の繰越については設立団体の意向により大きく影響を受けるとの意見があり、これに対しては、繰越が承認されるよう設立団体と交渉していきたいとの回答があった。

(2) 平成 22 年度 11 月補正予算について

小島財務グループ統括から資料に基づき説明があり、審議の結果、原案どおり承認された。

(3) 公立大学法人滋賀県立大学職員給与規程等の改正について

坪田総務グループ統括から資料に基づき説明があり、審議の結果、原案どおり承認された。

委員からは、教員の業績評価の結果を給与にも反映させることが一般的に望ましいとされている、教育面で評価に差をつけるので難しいので外部資金の獲得状況を活用して評価すればどうか、との意見があった。これに対しては、現在のところ、本学では教員の業績評価の結果は給与に反映させておらず、導入に向けては、学問分野が非常に幅広く評価基準の統一が難しいこと、担当する授業コマ数が様々であることなど難しい課題があるとの回答があった。

また、人事考課、特にマイナス評価は難しいので、外部資金の間接経費を活用して頑張った人にインセンティブを与えるなどの仕組みを工夫してほしいとの意見があった。これに対しては、次期中期計画の策定を通じて検討していきたいとの回答があった。

【報告事項】

- (1) 平成 22 年度中間決算の概要について
小島財務グループ統括から資料に基づき報告があった。
- (2) 認証評価に係る訪問調査の実施結果について
曾我理事長から資料に基づき報告があった。
- (3) 外部資金の獲得状況について
久保田地域貢献研究推進グループ統括から資料に基づき報告があった。
委員からは、科学研究費補助金の獲得件数はかなり増えてきているが、教員数を踏まえるともっと増やせるので引き続き獲得に努めてほしいとの意見があった。
- (4) 平成 23 年度推薦入学選抜等特別選抜試験の受験状況について
藤野教務グループ統括から資料に基づき報告があった。
- (5) 教育研究組織の新設について
高田経営戦略グループ統括から資料に基づき報告があった。